

小学生の「説明的文章」の一考察

白石寿文

はじめに

小学校児童は、読者を想定した説明的文章を、どの程度に書けるものだろうか。又、学年が進むにつれて、対象認識の深まりをどう反映した説明になっていくのであろうか。

「私のお父(母)さん」の題での六か年継続作文の考察は、

藤原与一先生『小学校児童作文能力の発達』(文化評論 昭50・

2・1)

飯田恒作氏『綴る力の展開とその指導』(培風館 昭10・9・1)の両著に詳しい。特に藤原与一先生のご研究に感動した私は、私なりの「自分の身だけにあった」勉強として、対象認識と読者意識とが関わりあった文章表現の指導、作文教育のあり方を求めてみたくなった。

一 「本庄小学校のこと」— A・B両女児の作品 —

A子さん

(1年生)

あなたたちのわからないことをおしえましょう。

はじめに、どんなへやがあるかおしえましょう。

ほげんしつ、こうちようしつ、りかしつ、じむしつ、じょくいん

そこで、まず現実把握として、同一児童に、

1、自分の学校のことを

2、後輩の新入(1年)生に

教える(説明する)文章を、

3、毎学年修了期の3月中旬に

4、6か年継続して

書いてもらってもいいかどうか、附属小学校と代用附属の佐賀市立本庄小学校に相談した。幸いにも両校の快諾を得て、昭和51年3月から今年3月まで5か年の貴重な児童作文をいただくことができた。来年3月で小学校6か年がまとまるのであるが、今回、その中間的作業として、比較的説明の詳しいA・B2人の女子児童(いずれも本庄小学校)の作品に焦点をしばって考察し、報告したい。

B子さん

(1年生)

1年生になったらたのしいことや、大ぜいのおともだちがきま

す。

はじめにろうかのあるきかたについてはなします。ろうかがある

しつや、体いくかんもあります。まだほかにもあります。

つぎに、しゆくだいのことについてはなします。

はじめのうちは、しゆくだいは、ありません。

一学きの、はんぶんまで、ありません。そのつぎに、はっぴょうのしかたを、おしえます。はっぴょうするときは、手をあげて、げんきなへんじをします。

あてられてからわからないときには、「わかりません。」と、いいます。

また、ちがうことだったら、ゲーで手をあげます。

おわりに、にゆうがくしきのことを、おしえます。六年生の人たち、名ふだや、赤いリボンを、つけてもらったり、じぶんの、せきのところまでつれていってもらいます。

こくばんには、さくらの花と男の子がぼうしをかぶって、ランドセルをしょったところや女の子も、えにかいてあります。そして、体いくかんまで、ならんではいっていきます。はいったら、いすにすわり、こうちよう先生もすわります。もちろん、おかあさんもいっしょにきます。

みなさんも一年生になってもがんばってください。わたしたちもがんばりましょう。

(2年生)

一年生のみなさん入学おめでとう。

わたしたちの、学校には、いろいろな教室があります。たとえばきゆうしよく室は、体いくかんのとなりにあります。としよかんは、しよくいん室のとなりにあるかいだんをのぼっていくと、とし

くときは、しずかにあるいて、かけたりなんかしないこと。ろうかをかけると、人におつかたり先生からしかられます。

つぎに、きゆうしよくのことをはなします。きゆうしよくは、

月、火、水、木、金よう日にあります。シートをわすれないように気をつけてね。きゆうしよくには、いろいろなものがあります。なんでもよろこんで、たべましょう。

つぎは、はっぴょうのしかたのことをはなします。もじもじしないで、はっきりこたえてね。はっきりこたえないと、きている人が、めいわくするよ。だからはっきり大きなこたえで、いってね。

学校には、いろいろなきょうしつがあります。おんがくしつや、りかしつなどあります。それにしんこうしゃもあります。しんこうしゃには、なんかいもきょうしつがあります。あたらしくはいってくる一年生は、どのきょうしつにはいるかな。一年生のみなさん。げんきよくあそんで、しっかりべんきょうしましょう。そしておともだちになろうね。

(2年生)

新入生のみなさんもうすぐ入学ですね。わたしたちのこの本庄小学校には、いろいろなへや、またはあそびどうぐがあります。たとえばほけんしつ、きゆうしよくしつ、としよかん、そしてあなだがたがあたらしくはいるきょうしつです。

よかんがあります。その手前にこうばいぶがあります。しょくいん室のとなりには、校長室があります。一年から、三年の一組と二組まで古い教室で、三年の三組から、六年の四組まで新こうしゃです。学きゅうえんには、うさぎやにわとりやお花やインコやしょくぶつがあります。また、理科室や図工室やほけん室やじむ室やたいいくそうこやしんこうしゃの上におくじょうがあります。しんこうしゃのつくえと古い教室のつくえやいすは、ちがいます。先生は西岡先生やつじ先生や、はっとり先生やとくしま先生やまだいろいろな先生がいます。教室には一だいつつテレビがあります。

(3年生)

新しい一年生、本庄小学校に何度か来たことは、ありますね。本庄小学校は一年から、六年まで全部4組まであります。みなさんは、何組がすきですか。わたしは、一年から三年まで、ずっと三組ばかりです。一年と二年は組が同じです。三年と、四年も組が同じです。五年と六年も同じ組です。ですから、三年と五年の時に組がえがあります。そして、運動場の南には、プランコ、学習園などあり、東には、てつぼう、バスケットのあみなどあります。北にはふれはぶこうしゃがあり、西には、タイヤがならんでいます。また、ほけん室や、図書館があります。でも、一年生は、かりられません。そして、体育かんのとなりには、きゅう食室があり、そのとなりに、おトイレがあります。ほけん室の、左ななめには、じむ室があり、右ななめには、校長室があり、そのとなりに、しょくいん室があります。それから、しんこう社に入

あそびどうぐては、そうごうがくしゅえんです。そうごうがくしゅえんにはいろいろなものがついています。すべりぼう、すべりだい、などがついています。

ほかのあそびではおらんこそそのほかにたくさんあります。

わたしたちは、はやくしんにゅうせいがかかるといいな、と思いがらまっています。

(3年生)

ようちえんのみなさん、ご入学おめでとう。わたしたちのこの学校は、図書館、給食室、それにてっくんコンクリートなどがあります。みなさんは一年生へ、わたしたちは、四年生になります。

この学校がようちえんとちがうところは、こうしゃがたくさんあるところと、体育館、プールなどがあることです。

またこうばいぶでは、おりがみ、なわとび、図工どうぐでいるものほかにいろいろあります。

そしてみなさんが一年生になると、春のうんどう会や春のえんそく、秋のうんどう会、秋のえんそくなどがあります。

春のえんそくは、きまってひのくま山です。

べんきょうでは、国語・体育・音楽・算数・理科・社会・などができます。

とくにおおいは、国語、算数、理科、社会などです。

るのは、四年生からです。一番下から四年生まん中が、五年生、一番上が六年生です。一、二、三年生は、ほかの校しやです。また、春になると、小運動会、えんそくがあります。えんそくはひのくま山です。春は、いつも同じ所なのでいやになりました。でも秋は、ちがう所です。また、運動会も、一年生は赤おにのめんぶりゆうを、おどります。いろいろたのしい行事があります。

(4年生)

みなさん、本庄小学という所を知っていますか。

知っている人もいます。でもよくは知らないだろうと思うのでわたしたちが教えてやりましょう。

今年、歴史にくぎりをつける九十周年記念です。

ですから校歌もかえられ、校きも作られました。

そして、バスケット台も作られ、図書館の本も新しいのが入ってきました。でも、図書館の本は、一年生はかりられません。でも、二年生になればかれます。その時はいっぱいかりて下さい。

この校長先生の名は、「竹下校長先生」です。校長先生は、とてもいい先生です。そして、本庄小は、一学期に2週間、二学期4週間、計6週間に教生先生がいっしょに遊んでいます。みんな教生先生といっしょに勉強したり遊んだりして楽しい六週間です。各クラスに2名ずついらっしゃいます。

みんな元気ないい教生先生です。

わたしがこのべんきょうの中で好きなべんきょうは、国語、体育、音楽、社会などです。みなさんもこんなべんきょうが、きくとすきになるでしょうね。

うんどうじょうでは、ブランコ、学しゅう園、てつぼう、じゃんぐるじむ、かいせんとう、のほりぼう、などがあります。

ひろびろとしたうんどうじょうでドッチボール、サッカーなども、できますよ。

みなさんも、この学校に、はやくきて下さい。

(4年生)

新しくはいつてくる一年生はまだ本庄小学校のことはしららないと思います。

みんなのはいってくる本庄小にはいろいろなめずらしいものがあります。たとえば学習園では、休み時間に遊んだりして楽しくすごせます。

理科園には、みんなのすきな、うさぎ、にわとり、小鳥などというふうにいると、あります。またきれいな花がさいていますよ。

うんどう場ではドッチボールで遊ぶ人、きんしのゴムで遊ぶ人、バスケットであそぶ人というふうにいるんな人がうんどう場ではしりまわって楽しくあそんでいるのがみえますよ。

話かわりますがみんなはたぶんえんそくなどはすきでしょうね。わたしたちのえんそくでは春は毎年六年間ひのくま山のえんそくで、一年の時だけ六年生に手をひかれてのほりますが、二年生からはひとり自分で自分の力でのほります。秋はどこにいこうとはき

みなさん、本庄小学校は、せいふくです。

ですから、朝くる時どのふくをきよいかとまよわなくていいしまた、よごれがめだちません。

みなさん本庄小学校は、何クラスあると思いますか。

本庄小学校は、全学年四組ずつあります。わたしは、今四年生ですが、一年生の時からずっと三組です。

みなさんは、何組になるでしょうね。楽しみですね。

本庄小学校には、11ぐらいのとくべつ室があります。

一つめは、音楽室です。音楽室は、つくえのかわりにオルガンがあります。

二つめは、図工じつです。図工室は、この前、ゆかを、かえたばかりです。三つめは、理科室です。四つめは家庭科室です。

家庭科室は、おりよう理やおさいほうをるところです。五つめは、保けん室です。保けん室は、頭がいたくなったりおなかがい

たくなったり、けがをした時にいくところです。保けんの先生がやさしく手当てしてくれます。

六つめは、じむ室です。じむ室は、電話がたくさんあります。

七つめは、体育かんです。体育か人は、じどうしゅう会です。つかり、朝会です。つかりします。

八つめは、体育そうこです。

サッカーボールやボーリングピンなどおいてあります。

九つめはかいぎ室です。

十つめはしよくいん室です。

十一つめは、校長室です。

まったく毎年いろんなところへ、一、二年、三、四年、五、六年というふうにわかれていきます。わたしたちは一年の時と二年の時のえんそくはちよつとわすれてしまいました、が三、四年の時のえんそくは、はっきりにおぼえています。

そして春の小体育うんどう会です。秋にはテントをあげてい

ませんがとても楽しいうんどう会です。秋にはテントをあげてい

んな方がたが見えてきます。そしていろんな競ぎが行われます。そしてむかしからつたわるめんぶりゅう、リレーとかいろんなものがあ

ります。そして四年生になればしよくいん、じきゅうそうといろんなことがあ

みなさん覚えてましたか。

学校へ入ったらさっそくしらべて下さい。

では、みなさん四月から元気に学校に登校して下さいネ。

(5年生)

新一年生のみなさん、今から、この本庄小学校のことをいろいろ教えてあげます。

まず、この学校は、そうりつ90周年記念です。図書館には、新しい本が、たくさん入っています。みなさんも、どんどん貸りて下さい。それから、校歌も新しくなりました。みなさんも、早く覚えて歌ってください。そして、なんととっても、一番じゅうだいなのは、夏休みから始まった、新しいこう舎の建築です。みなさんが、この学校に入学する時は、もう、りっぱに、できあがっているでしょう。今年卒業された、六年生のお兄さんや、お姉さんたちからの卒業記念として、南正面の大時計が、つけられていますよ。

次に、特別室のしようかいをしましょう。初めは、保健室。けがをしたり頭やおなかがいなくなったら、すぐに行ってください。次は、会議室。先生がたが、学校のことでいろいろお話をなさる所です。その次は、図書館、さっきも、お話しただけど新しい本がたくさんあります。先生も、とってもやさしい先生です。そのとなりには、こうばい部があります。メモ帳やカッターや、けしゴムなどいろいろ売ってあります。それから、理科室。理科の実験道具などが、いっぱいあります。家庭科室は、五年生にならなければ入られません。今は、ないんだけど新しいこう舎の中に、できるは

(5年生)

一年生のみなさん。あなたたちがこんど入ってくるこの本庄小学校は、いま、新しい校舎が作られています。

私たちは、今度六年生ですからあと一年しかいられません。新しい一年生は、六年間しっかり、勉強、遊びにまなんで下さい。

この本庄小学校は全部一学年四クラスで合計二十四クラスあります。今、新しい校舎のけんちくで運動場が少しせまくなっています。三月のなかばごろにできるよていですが、少し、おそくなるかもしれません。運動場は、鉄ぼう、のぼりぼう、ジャンゲルジム、おらんこ、学習園などがあります。みんなでなかよく遊んで下さい。

また、四月には、春のえんそくがあり、五月には、春の運動会、八月には、たのしみの夏休み、十月は秋の運動会、十一月には、秋のえんそく、などがあります。

そして、お昼は、ようち園では、弁当だったろうと思いますがここでは給食で弁当はもってこなくてもいいんです。なんでもよくたべて、下さいね。

そして、六月と十月には、教生先生がこられます。教生先生とは、先生になりたくて、この本庄小学校で勉強されます。みんなは、教生先生となかよくして下さいね。とてもやさしい先生ばかりです。でもあんまり、わるいことすると、やさしい先生からこ

ずです。お料理を作って食べたり、とっても楽しいですよ。わたしの一番好きな科目が家庭科なんです。

それから放送室。これも新しいこう舎の中にできます。前は、体育館の二階にあったんだけど、今度は、きれいな放送室ができましたよ。

この他にも、いろいろな所がありますよ。そして、四年生からですがクラブ活動があります。一年ごとに交えられます。打楽器クラブ、トランペットクラブなどは音楽が好きな人、また、ソフトボールクラブ、きかい体そうクラブは、体育の好きな人などと、いろいろなクラブがあります。

そして六年生になれば委員会活動もあります。

この学校には、このような楽しいこといっぱいあります。早く入学してくださいね。待っていますよ。

二 対象(学校)認識

A子さんの学校説明の素材

1年生 ①へや(教室) ②宿題 ③発表の仕方 ④入学式

2年生 ①教室 ②学級園 ③机 ④先生 ⑤テレビ

3年生 ①学級(組) ②運動場の南・東・北・西 ③室 ④新教室

舎 ⑤行事

4年生 ①90周年記念 ②図書 ③校長 ④教生 ⑤制服 ⑥学級

(組) ⑦特別室

わい先生になるよ。でもあんまり、あまえずきてはいけませんよ。そして、今できている校舎には、音楽室が二つ、しよくいん室、図書室、ほけん室、じむ室、かいぎ室など、その他たくさんあります。みなさんが入るころ、もうできているといいですね。図書室には本がたくさんあって、まだ一年生は、かりられません。図書室に本を見にくるだけはいいいです。そして保けん室ではげがなどするとやさしく手あてしてくれます。

あなたが一年のうちで一番楽しいのは、運動会、えん足、水泳大会でしょうね。運動会は、かけっこ、しよがい物で、一ばんとれるといいですね。えん足はみんなといっしよに弁当をたべ、もってきたおかし、ジュースなどを食べたりします。水泳大会は、ご石ひろいなど太陽の下で泳ぎます。その他たのしいことはたくさんあります。

一年から六年までの六年間いい思い出をつくってくださいね。

5年生 ①90周年 ②図書 ③校舎建築 ④卒業記念品 ⑤特別室

⑥先生 ⑦好きな科目 ⑧クラブ活動 ⑨委員会

1~5年に共通する素材の一つとして、教室・部屋、の説明をみると

「どんなへやがあるかおしえましょう。ほけんしつ、こうちようしつ、りかしつ、じむしつ、しよくいんしつや、体いくかんもあります。まだほかにもあります。」(1年)

「学校には、いろいろな教室があります。たとえばきゅうしよく室は、体いくかんのとなりにあります。……」（2年生）

と、1年生の部屋の名称の羅列から、2年生は場所的説明となっている。3年生も同様で、「体育かんのとなりには、きゅう食堂があり、そのとなりに、おトイレがあります。」となっている。ところが4年では、特別教室、という術語を用い、その様子にもふれる。「一つめは、音楽室です。音楽室は、つくえのかわりにオルガンがあります。二つめは、図工しつです。図工室は、この前、ゆかを、かえたばかりです。……」この説明法は、3年生の「また、ほけん室や、図書館があります。でも、1年生は、かりられませんが、教室の学習机を前提にしており、教室というもののイメージが確固としてあることがわかる。

更に家庭料室や保健室、体育館等については、その機能にもふれている。一方、会議室、職員室、校長室は、名を示すにとどまっている。

5年生になると、特別室の機能・役わり中心の説明が簡潔に、きちんとなされている。「初めは、保健室。けがをしたり頭やおなかがいなくなったら、すぐに行って下さい。次は、会議室。先生がたが、学校のことでいろいろお話をさる所です。……」

B子さんの学校説明の素材

- 1年生 ①廊下の歩き方 ②給食 ③発表の仕方 ④教室 ⑤校舎
- 2年生 ①部屋 ②遊び道具
- 3年生 ①部屋 ②進級 ③校舎 ④購売部 ⑤行事 ⑥勉強 ⑦

運動場

4年生 ①珍しいもの—学習園、理科園 ②運動場 ③行事 ④当

番

5年生 ①校舎 ②学級 ③運動場 ④行事 ⑤給食 ⑥教生 ⑦

室 ⑧行事

A子さん同様、教室・部屋、の説明をみる。

「おながくしつや、りかしつなどあります。それにしんこうじやもあります。しんこうじやには、なんかいもきょうしつがあります。あたらしくはいってくる1年生は、どのきょうしつにはいるかな。」（1年生）教室があるという説明に加えて、後輩の新1年生への呼びかけという姿勢が出ている。

2年生で「いろいろなへや」として、「たとえばけんしつ、きゅうしよくしつ、としよかん、そしてあなたがあたらしくはいるきょうしつ」があげられている。しかし、A子さんたちが、どこにあるのかはふれていない。遊び道具の方に関心が深かったであろうか。

3年生では、特別室と校舎を一体的に見て「わたしたちのこの学校は、図書館、給食室、それにて、きんコンクリートなどがあります。」となっている。B子さんにとって、「教室・部屋」は、学校を説明するのに不可欠のものではない。4年生では全くふれていない。5年生で、音楽室、職員室、事務室、会議室の名が見られ、図書室と保健室には、「図書室には本がたくさんあって、まだ1年生は、かりられませんが図書室に本を見に来るだけはいいです。そして保けん室ではけがなどするとやさしく手あてしてくれます。」と

説明が加えられている。

B子さんにとっては、学校は、構造的に受けとめるより、自分たちが何をする所か、どう活動できるかといった、動的な角度から把握されるものと言えよう。1年の「歩き方」、2年の「遊び道具」、3年の「行事」や「運動場」、4年の「運動場」や「行事」、5年の「運動場」や「行事」など、多くとりあげられている。幼稚園と異なる所として、3年生で体育館とプールが注目され、5年生では、運動場が狭くなったことによれているのも、B子さんの学校認識のあらわれているところである。

三 読者（後輩の新入生）への配慮

A子さんは、「あなたたちのわからないことをおしえましょう」に始まり、「はじめに」「つぎに」、「おわりに」とがっちりした構成で、教えたことが説明され、「みなさんも1年生になったらがんばってください。わたしたちもがんばります。」と結ばれている。1年生での到達が、ここまでできるのかと感心させられる。

2年生になると「いろいろな教室があります。たとえば……」という説明法を示し、1年の時と違って接続詞を用いないで多くの事が叙述されている。後半は、学校の各部分を次々に思い起こしては書き記す結果となっている。連想の強さがつなぎことばを不要としている。

3年生では、説明の間に「みなさんは、何組が好きですか」と問いかけ、図書館のところでは「1年生は、かりられません」、運動会で「1年生は赤おにのめんぷりゅうを、おどります。」と、読み

手の1年生をはっきり意識している。

4年生では、テンポがゆったりして、とりあげる対象が移る際に、「みなさん」と話しかけていることが注目される。

5年生では、「まず」「次に」「それから」「この他にも」と、展開がはっきりしている。4年生以降、特別室の説明は、新入生を配慮した、定型化、が、はっきりしている。

B子さんは、いかにも眼前に後輩の新入生が居るかのようになり、しずかであるいて、かけたりなんかしないこと。」「シートをわすれないように気をつけてね。」「もじもじしないで、はっきりこたえてね。はっきりこたえないと、きている人が、めいわくするよ。」「おともだちになろうね。」「(1年生)と話しかけている。2年生でも書き出しと結びで呼びかけており、3年生では、書いている現在は、まだ幼稚園児と考えていることがわかる。

4年生では、語りかける姿は前半に見られ、後半は説明に集中している。

5年生になると、お姉さんが新入生にしっかり言いよらせる感じが出ており、「しっかり、勉強・遊びにまなんで下さい。」「みんなでなかよく遊んで下さい。」「なんでもよくたべて、下さいね。」「でもあんまり、あまえすぎではいけませんよ。」「……いい思い出をつくってくださいね。」といった文末が注目される。

またB子さんは、3年生から、幼稚園と違う所は云々と、わかりやすい対比をし、4年生で「みんなのすきな」、「みんなはたぶんえんそくなどはすきでしょうね」と相手の心情に重ねて述べ、5年生で「ようち園では、弁当だったろうと思います……」の他に、

「教生先生とは、……」の定義的説明や、「あなたたちが一年のうちで一番楽しいのは、……でしょうね。」と聞く方が思わず、うんと頷いてしまうような巧みな言い方をしている。

こうして2人の作品を見つめていると、A子さんの機構的・空間的學校把握と、落ちついた、いわば靜的な角度からの説明に、いかにもA子さんの性格が伺え、一方、B子さんの活動的・時間的學校把握と、まさしく學校を學校たらしめている、児童[＊]の存在を動的に説明している文体に、いかにもB子さんの人格が生きている。

この2人が1年生の時の作品を、1人1人としてではなく、1年生全体の學校認識のあり様として考察を試みたことがあった。(「佐賀大國文」第5号 昭52・11)

児童の全体的特質の把握と、1人1人のいかにもその人らしさが生きているものの把握との双方を重ねあわせて、はじめて、「この子に何を学ばせるか」の学習指導計画を生み出すこととなる。児童の作品の研究を更に続けていくことを、私の課題としたい。めざすところの中間報告である。(佐賀大学教育学部助教授)